

かごしま

あいら

市議会だより

No.32 9月定例会 平成30年10月31日発行

より開かれた議会を目指して 2

身近な事業をピックアップ 3

始良マチ・ヒトのために 6

18人が市政を問う 10

市議、走る We Try Hard 19

金山橋上空から駐車場、板井手の滝を望む



▲夜空に咲いた大輪の花「さえずりの森」高倉展望台より望んだ花火大会

本定例会では、4億2276万円の補正予算が提案され、予算審査特別委員会へ付託しました。

特別委員会では、所管の常任委員会とともに班を構成し、班ごとの審査の後、全体会でそれぞれの班長が報告し、審査を深めました。

主な内容は次ページから掲載のとおりです。

今定例会で大きな議論になったのは、請願の審査でありました。

本請願は総務常任委員会に付託され、2度にわたり請願者の出席を求めるなど、細かく慎重に審査しました。

本会議では、夜空に咲く花火のように7人が討論を行ない、激論を交わしました。

決算議案については、昨年までは定例会で行なっていました。今回より閉会中(10月)に、より時間をかけて調査・審査することになりました。

審査の結果と内容については次号に掲載致します。

全ての議案と採決結果は、始良市ホームページをご覧ください。



会 派

今年度より、政務活動費が支給(後払い)可能になりました。現在2つの会派(公明党始良市議団2名・市政クラブ始良輝8名)が結成されています。詳細や活動内容については、次号でお知らせいたします。

より開かれた議会を目指して!!

●9月議会(第3回定例会)

(会期) 9月4日～9月25日 22日間

「空き地の取得と有効活用を求める」請願

委員会は **採 択**

本会議は **不採 択**

詳細は9ページをご覧ください。

安全・安心

○教育施設の危険ブロック塀等撤去工事を実施。

○市公共施設も調査・点検開始(素早い対応を評価)

【議案】

議案	8件
請願	1件
陳情	2件
諮問	1件

補正予算

可決

賛成／22名 反対／1名

私たちに身近な事業や
新規事業を
ピックアップします。

ふるさと応援寄附者返 礼品および関係経費

9639万円

当初予定を上回る寄附金

全国的なふるさと納税ブームに伴い、本市も当初予定より多くの寄附金が集まっており、不足する返礼品および関係経費等を計上したものです。

Q 現在、ふるさと納税の金額はいくらか。

また、納税金額に対する返礼品の割合はどれくらいか。

A 8月末現在、429

6万円の寄附をいただいております。

払戻割合は3割としています。

【議員間討議】

・ふるさと納税で目的が広すぎて何のために集めているのか分らない。

・今は事業の穴埋めに実施しているの、始良市がやりたいことを挙げて、PRしていく必要がある。

予約型乗合タクシー試験 運行委託料

(蒲生大山地区と久末地区高牧集落)

28万円

生活の足になるか

11月1日から12月31日までの2か月間、蒲生大山地区と久末地区高牧集落において、予約型乗合タクシーの試験運行の実施に伴う委託料です。

その間、蒲生巡回バス
大山・白男線と久末・高牧線の一部区間は運行休止となります。

Q 蒲生巡回バスから予約型乗合タクシーに移行した場合、経費等に変化があるのか。

【議員間討議】

・住民意識として、タクシーは贅沢という考えがある。

・経費削減になることを理解してもらい、認識を新しいものに変えてもらわないといけない。

・タクシーになると住民にも行政にもメリットが多い。

A 大山地区の巡回バスと予約型タクシーを比較すると月で約6万円の歳出減と試算しています。

高牧集落は巡回バスが高牧に行かなくなった場合という形での比較になりますが、月額約1万7千円の歳出減を試算しています。



▲住吉池公園キャンプ場

住吉池公園街路灯設置工事

450万円

観光資源の活用事業

県の地域を照らす再生可能エネルギー事業費の交付を受けての実施する事業です。住吉池公園に太陽光で発電した電気を利用してLED街路灯3基を設置する工事費です。

全額県の補助金で実施されます。

Q キャンプ場は7・8月のみの利用だが、公園として他の期間も利用したり寄ってもらったりする計画はないか。

A 夏場以外の利用法は模索していかねければならないと考えます。これだけの広い敷地であり、始良市唯一の湖沼ですので、イベント等で使っていたことが一番大事かと考えます。

基幹相談支援センター事業

53万円

障がい者の相談窓口

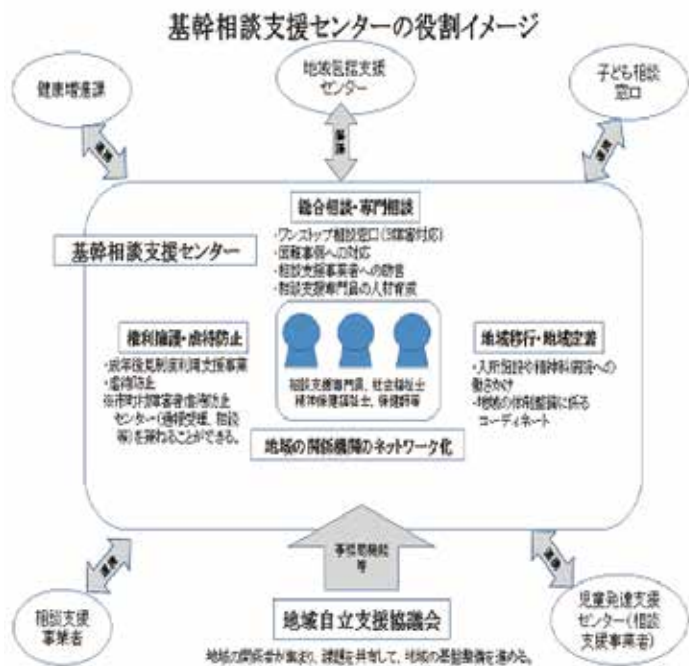
基幹相談支援センターを来年4月開設に向けての準備として相談支援専門員の配置費用です。

A 相談支援専門員は、社会福祉士、精神保健福祉士、保健師等の有資格者で、広く対応できると考えます。

基幹相談支援センターとは、障がい者に関するあらゆる相談に対応するワンストップ的窓口です。

Q 3人の相談支援専門員はあらゆる相談に対応できるのか。

【議員間討議】
・障害福祉施策全般の現状把握や今後の動向のチェック、提言するためにも、地域自立支援協議会への議員の参加を求める。



▲基幹相談支援センターのイメージ図

教育施設維持管理事業

650万円

今後の修繕費用の不足額

本年6月の大阪北部地震による学校のブロック塀の倒壊事故を受け、教育施設の危険なブロック塀撤去等の工事を実施した。このため生じた、今後の修繕費用の不足額の計上です。

Q 今回の調査・点検による工事場所を示せ。

A 工事箇所は、蒲生小学校校長住宅ブロック塀、



整備前



整備後

▲柁城小学校の北側ブロック塀を整備

柁城小学校北側、錦江小学校校庭南側と体育館北側、竜門小学校北側、漆小学校駐車場、帖佐小学校、加治木幼稚園です。

【議員間討議】

・学校敷地内ばかりでなく、通学路も含め子どもたちの安全を確保するための政策（民間のブロック塀や危険空き家の撤去など）を検討すべきである。

森山家保存整備事業

1451万円

駐車場の整備に着手

土地開発基金で購入していた森山家南側の土地を、県の魅力ある観光地づくり事業で駐車場整備をするために買戻しするための費用です。

駐車場整備は、平成29年度に設計を終了し、30年度以降工事に着手する予定です。

Q 駐車場の工事計画は、どのように考えるか。

A 今回の用地は、森山家より寄附された主屋の南側で、今年度の工事後は南側の市道から仮設の進入口から入れます。駐車場は普通車が14台程度停められます。

都市計画道路「朝日町通線」が開通すれば、バス4台程度駐車できます。



▲駐車場が整備される森山家南側の土地

始良橋補修工事

5000万円

追加内示で延伸

始良橋補修工事費の補正は、補助金の追加内示によるものです。

Q 金額内訳を示せ。

A 当初予算では1億円を計上していたが、内示が追加で5千万円あり、総額1億5千万円になる。また、工区は50mから75mに延伸される。

【議員間討議】

- ・長寿命化計画に基づいて約8年で全体の補修を予定していることを確認した。
- ・維持補修の必要性については、国道10号の渋滞緩和を目的にしていることが分かった。
- ・始良橋全体の補修概算金額は、約8億円であることが確認できた。



▲始良橋の現地調査を行いました

災害復旧事業

6185万円

市道2路線・河川5か所

本年6月21日から7月8日までの梅雨前線豪雨及び台風7号の被害によるもので、市道2路線、河川5か所の復旧工事請負費です。

【対象箇所】

- 市道
 - ・青敷線
 - ・赤仁田線
- 河川
 - ・春花川
 - ・永瀬川
 - ・小川内川
 - ・井ヶ屋川
 - ・西川内川



▲適切な対応で復旧工事が行われます（市道青敷線）

市道舗装補修事業

2000万円

選定理由は？

市道23路線の道路舗装補修の委託料です。

Q 23路線を選んだ理由を示せ。

A 補修が必要な箇所については、市職員がパトロールをして地図に落とし込んでいます。

応急補修が度重なりとこるや、緊急対応が必要

などところなどを選んでい

【議員間討議】

- ・多くの補修箇所があることから、当初で予算計上できないか。
- ・補修箇所の一覧表や補修等の実施スケジュールが必要である。
- ・技術職員が足りているのか。



▲身近な道路の舗装補修が進みます

マチ
始良市のために

ヒト
始良市民のために

審査の進化

予算審査特別委員会

報告

審査の深化と進化

一般会計予算審査特別委員会では、付託を受けた総務・文教厚生・産業建設の所管ごとに班審査を行いました。

各班における審査の論点は下段のとおりです。

全体会では、各班からの指摘事項や提言について更に活発な議論が熱く交わされました。

○文化会館（加音ホール）の指定管理者制度のあり方と長寿命化計画の整備

○基幹相談支援センター開設の周知と案内

○通学路の安全確保のための専門家や地域の協力と庁内の横断的取組

○未整備道路への迅速な対応のための体制強化

以上の4項目を、特別委員会からの提言としました。

始良市のために

始良市民のために

今議会も、審査の深化と進化が図られました。

産業建設班

土木・農業など

《論点》



1. 資源リサイクル畜産環境整備事業実施に伴う負担金

☞ なぜこのタイミングで補正を計上したのか。

2. 市道23路線の道路舗装補修委託料

☞ 一般単独道路維持整備事業のあり方

3. 始良橋等の橋りょう維持整備事業

☞ 始良橋の計画的な補修について

文教厚生班

教育・福祉など

《論点》



1. 障がい者に関する相談窓口「基幹相談支援センター」開設に向けた相談支援員配置に係る経費

☞ 「基幹相談支援センター事業」の全貌や将来像が見えてこない。

2. 小学校・幼稚園等、教育施設の危険なブロック塀の撤去、フェンス設置等の工事費に係る不足額

☞ 今回のブロック塀撤去で子どもたちの安全は確保できるのか。

総務班

企画・商工観光など

《論点》



1. 加音ホールの屋根雨漏り補修の経費

☞ 加音ホールの建物全体の長寿命化計画が必要ではないか。

2. ふるさと応援寄附の返礼品等の諸経費

☞ ふるさと納税の目標や戦略が見えない。

3. 蒲生大山地区・久末地区の予約型乗合タクシー試験運行の委託料

☞ 公共交通対策における地域住民の合意形成はあるのか。

宇都トンネル

工事請負変更契約

可決
賛成23名
反対0名

「第2回定例会（6月）で白熱の議論が交わされ、追加の補正予算（8691万円）が承認された宇都トンネルは、南生・第一特定建設工事共同企業体と請負契約を締結し、工事が進められています。

今回の追加分の工事請負変更契約議案が上程され審議しました。議案は産業建設常任委員会に付託され、委員会では契約金額及び工期の妥当性などを中心に、質疑・答弁が繰り返されました。

当初の契約内容に覆工（延長約109m）を追加するものです。これに伴う変更増額は9798万7268円で、変更後の契約金額は、5億3498万円となり、工期も45日間延長され、完成予定は平成31年3月15日までとなります。

今年度中に本体の完成を目指す！

この変更契約は、すでに契約済の部分を除く覆工及び仮設工事の追加で、契約金額も発注設計金額に対し、前



▲早期完成を目指し、工事が始まった宇都トンネル

窓口業務等包括的民間委託に伴う

債務負担行為

可決
賛成19名
反対4名

水道事業の安定した経営を維持するため行政改革の一環として計画されていた業務の包括的民間委託が来年度より導入されます。

主な質疑・答弁

Q 費用対効果が少ないのではないかと。

A 800万円は決して少ない額ではなく、毎年行う配水管の布設替えや老朽管更新等、非常に大きな効果と考える。

Q 今回のプロポーザル参加資格要件では、地元業者は入れないのではないか。

A 職員がしていること以上のことを求めるもので実績が一番大事と考えるが、地元業者もJ V（共同企業体）という形の参加もある。

Q 受託業者の倒産や、個人情報漏洩など心配はないか。

A 5年以内に実績があることやプライバシーマークの取得が条件になっているため、保護体制がしっかり整備されている。

Q 技術などノウハウの低下や民営化につながらないか。

A 技術が必要とする業務の委託はなく、受託者は契約上の責任を負うが、水道事業者としての責任は市にあり民営化ではない。この他、一般質問でも踏み込んだ議論が展開されました。

債務負担行為とは

支払いが将来的に発生する見込みではあるけれど、今年中には支払う予定がないという場合に便宜的に使われる予算の項目。

プライバシーマークとは

一定の要件を満たした事業者などの団体にに対し、一般財団法人日本情報経済社会推進協会が使用を許諾する登録商標。

来年度から水道事業の窓口業務等が変わります。



家庭的保育事業等の基準緩和

家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

家庭的保育事業等の設備、運営に関する基準を緩和する条例です。

代替保育が必要な場合、連携施設以外にも依頼することができるようになります。

食事に関しては、施設からの搬入以外にも、市が適当と認める者から搬入できるようになります。さらに、自園調理設備を整備するための猶予期間が、5年から10年になります。

現在、始良市には、家庭的保育事業者はいませんが、今後、待機児童対策の一助になると思われます。

賛成多数（賛成21名、反対2名）で可決しました。

●反対討論／堀 ひろ子 今回の改正は規制緩和である。安心安全の保育のため反対である。待機児童の解消は、認可保育所の増設、保育士の処遇改善等、抜本的な取り組みが必要でようになります。

●賛成討論／竹下日出志 今回の改正は国の省令による改正である。待機児童の解消と保護者のニーズに応える事業として取り組む課題である。多様な子育てを支えるためにも賛成である。

放課後児童支援員の資格要件拡大

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

教員免許を取得していれば、更新をしていなくても、有効期限を経過していても放課後児童支援員として働くことができるようになります。

さらに、放課後児童健全育成事業に従事し5年以上の実務経験があり、市長が適当と認めた場合、放課後児童支援員として働くことができますようになります。

全会一致で可決しました。

陳情 継続審査2件

今回2件の陳情があり継続審査となりました。

「主要農作物種子法」の復活を政府に求める意見書に関する陳情書
陳情者 山下 晶子

市行政事務の委託に関する条例制定と市一般職非常勤職員の任用、勤務条件等に関する規則改善について
陳情者 佐藤 一義

人事 人権擁護委員

人権擁護委員である伊地知真紀子氏の辞任のため、内田昭子氏が新たに就任します。期間は平成31年1月1日より3年間です。

永池町
内田 昭子

谷口 義文

現在、市が所有している土地で「多目的広場」として市民に開放している土地は存在しないし、また位置づけ自体ない。

今後、「多目的広場」そのものの在り方について、議会と行政が一体となり、議論することから始めることが先決である。

吉村 賢一

都市計画法では250m程度で街区公園の設置が望ましいとある。請願箇所は、永池公園から430mの距離で公園密度の低い箇所である。

公共事業の場合、譲渡所得の控除がある。安価な土地の提供ならいいが、市の財政負担が大きくなり用途が曖昧である点から反対意見とする。

堂森 忠夫

新たな土地を取得しなくとも、多くの施設が身近にある。これらの施設を有効利用することで、ラジオ体操などの場所の確保は可能である。

公の組織経営の角度から公平な判断をする。請願書の土地取得は相応しくないので反対する。

湯元 秀誠

空き地の市有地取得に期間の限定もあり、このようなケースには、目的や必然性など、市民に周知、理解の醸成も必要である。

総合振興計画・財政計画との整合性など、議論すべきテーブルに至っていない中で、実現性は低いと考える。



反対
討論



空き地の取得と有効活用を求める請願



請願者／小野島俊夫（360名の署名を添付）

紹介議員／上村 親 竹下日出志 新福 愛子

有川 洋美 松元 卓也 岩下陽太郎

請願の審査を付託された総務常任委員会では、関係者に出席を求め、慎重に審査した結果、採択としました。

本会議では、委員長の報告に対し、審査経過に多くの質疑があり、その後7名の議員が討論に立ち激論が交わされました。採決の結果、委員会の採決結果とは逆に、不採択としました。

請願事項の要旨

平松地域は近年住宅が密集してきている状況であり、同地域にある空き地（縦45m・横20.38m・面積917㎡）は、地域に居住する住民にとって『他に代えがたい貴重な広場』です。同空き地を市で取得し、住民の憩いの場として多目的に活用させて頂きたく請願致します。

請願者との主な質疑応答

- Q 今回要望された土地は、子どもたちや高齢者にどのように活用されているか。
- A 現在、子どもたちの利用はないが、高齢者が畑を耕作しておりコミュニティの場となっている。
- Q 広場として位置づけているとの話だが、誰もが集える憩いの場や防犯・防災のため等、たくさんの要素が重ねられている。いざという時の、トイレや水道などの条件整備をどう考えているか。
- A 根源的な思いは広場が欲しい、ただそれだけである。子どもたちが集まるときに水道があってほしいとかは、次の段階だろうと思う。

財政課との主な質疑応答

- Q 財政課では、この請願書を読んで、どういった捉え方をしたか。
- A 今回は普通財産として購入してほしいとのことであるが、市としては事業目的が明確でないものはこれまでも購入していないので、普通財産として取得することは難しいと感じる。
- Q 政策的なものになるかもしれないが、防災センター裏の有効利用と体育センターを含めた一帯の今後の活用を、関係機関・関係部署と協議を進め、地域住民のためにみんなで努力して考えてあげることが大事ではないか。
- A 政策ということになれば、今後市長・副市長に上申しなければならない案件だと思うので検討させていただきたい。

討論内容は、要旨を掲載しています。討論の詳細を知りたい方、賛成・反対の議員名を知りたい方は、始良市ホームページの議会コーナーをご参照ください。



上村 親
昭和45年重富地区土地区画整理事業調査報告書によると、当地区は公園、緑地及び公益施設への距離が、児童や高齢者が利用することに不良となっている。
このような状態が、現在も続いていることから、請願書のとおり用地の確保は必要だと確信する。

有川 洋美
始良市は人口が増え、子どもも増えてきたが、豊かな自然、景観、空間をなくした。
住民ニーズに対応した計画的なまちづくり、空間づくりが必要である。
大型施設ではなく、地域に必要な小規模なものにシフトしていく時代になってきたと考える。

竹下日出志
堅野自治会では、近隣に存在していた僅かな空き地を広場として利用していたが、宅地化により締め出されてきた。
この場所を、高齢者の語らいと憩いの場、子どもたちが安心して遊べる「多目的広場」として、用地を確保することに賛成する。

YES



賛成
討論

政策提言への対応

市長/段階的な取り組みを推進

有害鳥獣被害



湯川 逸郎



湯川 平成28年3月24日
付けで、産業建設常任委員
会から行政に、有害鳥
獣被害に関する政策提言
を行なった。

その後の対応はどのよ
うにしているか。

市長 政策提言の内容は
処理施設の整備・有害鳥
獣専門員の設置・有害鳥
獣の実態調査・捕獲隊活
動に感謝し、奨励する事



▲捕獲されたイノシシ

業の実施・組織の一本化
の5項目であった。

正確な情報を得られる
ような方法を検討し、集
落ぐるみで取り組むこと
を基本に、「皆で学習」
「寄せ付けない」「追い
払い」「最終的に捕獲」
の段階的な取り組みを推
進している。

校区コミュニティの活動 市長／現状と課題を抽出

湯川 行政としてどのよ
うな指導がなされている
のか。

自治会やコミュニティ

協議会の交付金について
示せ。

市長 自治会等の枠を超
えた地域コミュニティと
して、校区協議会が設立
され、4年目を迎える。

校区の現状と課題を抽
出し、様々な事業等が展
開されている。

市が各自治会や、地区
公民館に交付している交
付金は、昨年度は494
8万円である。

17校区全ての支援員に
対し、事務補助として、
1411万円の報酬を支
払っている。

その他の質問 ○資源物等の収集体制

を問う

一般質問

入札制度

信頼と透明性の確保

市長／昨年度から試行的に総合評
価方式を運用



和田 里志



和田 入札制度に関する

市民の信頼と透明性を確
保するため、適切な入
札・契約方式を採用して
いるか。

市長 一定の資格要件を
満たした者に限り、入札
に参加できる条件付一般
競争入札を導入している
また、技術力や経営力な

どを総合的に評価して、
価格と技術の両面から最
も優れたものを落札者と
する総合評価方式を、昨
年度から試行的に運用し
ている。

通勤・通学路の安全対策 市長／第2次交通安全基本計 画を策定

和田 子どもと高齢者の
安全確保についての対策
はどうなっているか。

市長 第2次交通安全基

本計画を策定し、通勤・
通学路を含む生活道路及
び幹線道路における安全
確保と対策については、
重点項目として掲げて
いる。

改善要望に対しては、
優先順位により、整備を
行っている。



▲通学路になっているのに、通行できない路側帯

食糧

本市の自給率は

市長／生産額ベースでおよそ27%



田口 幸一



部の全職員で協議を重ね、詳細がまとまった段階で、市水道事業労働組合の役員と協議を行っている。

その他の質問
○市道の修繕

田口 本市の食糧自給率を示せ。

市長 本市の食糧自給率について、農林水産省の「食糧自給率計算ソフト」により試算しますと、カロリーベースでは、およそ20%、生産額ベースでは、およそ27%となります。

水道事業について 市長／組合と協議

田口 職員数は現在の26人から35年度では17人となっているが、職員組合との協議はなされたのか。
市長 水道事業窓口業務等包括委託の導入については、これまで水道事業



▲収穫間近の水稻

市政

18人が



岩下陽太郎



熱中症対策

子ども目線の対応を

教育長／危機管理対応の指導を実施

岩下 現在、学校等で実施している熱中症対策はどのようなものか。

教育長 市教委が「危機管理対応必携」を作成し、校長研修会、教頭研修会などの機会に未然防止対策及び熱中症の症状が出た場合の対応法などを指導している。

また、各学校に熱中症計を配布し、個人の水筒持参による水分補給など様々な対応を行っている。

福祉避難所 市長／37施設・354人受け入れ可能

岩下 配慮を必要とする人を支援するための福祉避難所の設置はどのよう

に計画しているのか。

市長 始良市民間社会福祉事業所連絡会と協定書を締結し、災害時に福祉避難所を開設して、要配慮者を受け入れ日常生活に支障なく避難生活を送ることができるよう計画している。

昨年9月現在、37施設・354人の受け入れが可能となっている。

その他の質問

○始良市における医療体制

○市道における道路工事と水道工事



▲水筒持参による水分補給

公民館講座

健康マージャン教室

教育長／認知症対策など多様な角度から検討したい



吉村 賢一



吉村 市長の施政方針の第4に「健康寿命の延伸」がある。

健康マージャンは、賭けない、飲まない、吸わないで、「健康づくり」「生きがいづくり」「仲間づくり」になるが、本市でも公民館講座を開講できないか。

教育長 「健康マージャン」を活用した認知症対策や地域コミュニティ形成の場など、多様な角度からの導入の是非について検討したい。

吉村 街中の空き店舗を利用してそのような施設ができれば、いいと思うがどうか。

市長 外出するきっかけや顔見知りの人との会話

を楽しむほかに、地域の交流の場や商店街に立ち寄る人が増えるなどの相乗効果も期待できる。

教育現場にエアコンを教育長／財政負担の少ない方法を検討

吉村 教職員の現場は、ただでさえ残業が多くて暑さを精神力で耐えている状況がある。



▲みんなで楽しむ健康マージャン

質の高い教育環境を整えるため全ての教室にエアコン設置を検討できないか。

教育長 国の動向を注視しながら、財政負担の少ない導入方法を検討していく。

また普通教室・特別教室だけではなく、校長室・職員室等も含めて計画したい。

その他の質問

○危機管理と残土埋め立て地管理の在り方

青少年育成のため 友好都市盟約を急げ

市長／互いにプラスになる盟約を模索する

友好都市盟約



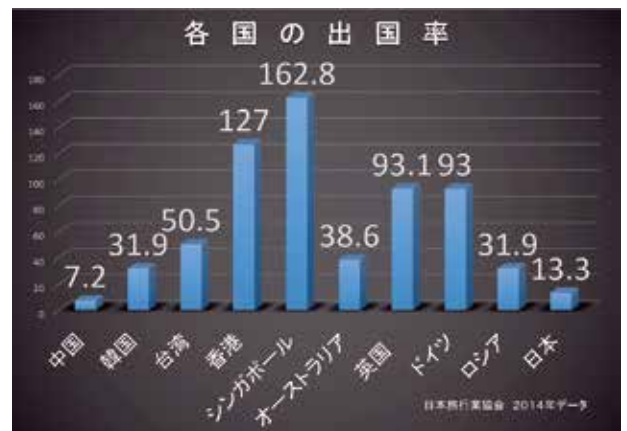
鈴木 俊二



鈴木 国内での国際化が進む中、青少年育成のための海外都市との友好都市盟約で、市が国際化の先頭に立つべきではないか。

市長 青少年の育成について海外へと出向くことは素晴らしいことで背中をぜひ押したい。

しかし友好都市盟約の締結には相手があること



▲各国の出国率

や、住民の方々の機運の醸成も必要であり今後とも関係行政機関と連携を取りながら相手にとってもプラスになるような友好都市を模索していきたい。また国際化に対してやる気のある若者の背中を押したい。

また大学設立より奨学金の充実を進めるべき。

市長 少子化の推移を踏まえ時代や若者のニーズを的確に捉えた魅力ある学科やカリキュラムとすることが重要と考えている。

少子化の時代、学生をどう集めるのかまた奨学金の充実を市長／時代や若者のニーズが重要

鈴木 今後とも減り続ける青少年、そんな中、将来にわたって学生を確保していくのか。

始良市にとってどのようなものが最適か考えるのも一つである。世論の醸成を図りたい。

部活動

休養日と活動時間

教育長／スポーツガイドラインに基づく



本村 良治



本村 スポーツガイドラインでは中学校の部活動時間についてはどのように定めてあるか。
週当たりの休養日と活動時間について具体的に説明せよ。
教育長 スポーツガイドラインでは平日週1日及び土日のうち1日以上、合わせて原則、週2日以上、の休養日を設定するこ



▲生徒が毎日汗を流すテニスコート

ととしています。

活動時間は長くて平日2時間程度、休業日は3時間程度とし、合理的かつ効率的効果的な活動を行うとこととしている。

るなど、総合的に判断してまいります。

その他の質問

○公共交通の充実

場外舟券売り場の設置

市長／総合的に判断

本村 場外舟券売り場について基本的な見解を述べよ。

市長 建設予定地周辺の現状、県内の他の地域の状況や懸念材料を検証す

中山間地域

移住定住対策の取り組み

市長／事業継続を検討



国生 卓



とともに、補助内容等の変更を含めた事業継続について検討する。

国生 「始良市総合計画」及び「総合戦略」の中で、中山間地域をどのような位置付けで移住定住対策を市として計画を立てて取り組んでいるか。
市長 第一次始良市総合計画では、重点プロジェクトとして、山田地区や永原地区に若者定住促進住宅の建設を行った。
さらに、各小学校の児童数減少対策として転入者等に支援する若者定住助成制度の創設を掲げている。

国生 「ふるさと移住定住促進事業」は、来年度までだが、内容の見直しを行い、継続するのか。
市長 今後、事業の利用状況や成果等を精査する



▲中山間地域田園

防犯対策

防犯灯・カメラ設置

市長／防犯灯、電球取替え
防犯カメラ、効果等の検証



萩原 哲郎



萩原 帖佐駅地下道に防犯灯・防犯カメラは付いてはいるが機能を果たせず、女性から安全性について要望が多い。

松原方面出口にも、防犯カメラを設置して欲しいが考えを問う。

市長 防犯灯については、電球の取替えを行った。築造25年以上が経過し、器具に不具合が生じてい



▲防犯灯・防犯カメラ等で安心・安全な通路に

ることから、計画的に器具の更新に努めていく。

防犯カメラ設置については、公共性が高く、人通りの多い場所や、犯罪発生を抑止効果のある場所を選定して設置している。

松原方面出口への設置については、これまでに設置した防犯カメラの効果等を検証した上で、研究していく。

登山道の整備

市長／まず、山頂整備を行う

萩原 始良市の一番高い山、南には桜島、北には霧島連山を一望できる烏帽子岳(703メートル)

登山道を誰もが登れるように整備し、始良市の観光に結び付ける考えはないか。

市長 地元の北上上自治会では、毎年元旦に、烏帽子岳山頂までの「初日の出登山」を実施している。

また、市内最高峰を誇る烏帽子岳は、絶景ポイントである。

まず、山頂の整備、草刈りやベンチ・看板の設置を行い、今後、登山道の整備を検討していく。

その他の質問

○グラウンド整備

○野良猫対策

○道路整備

市道の草払

遅れている作業管理

市長／作業員を増員する



堂森 忠夫



堂森 市道西別府線沿いの草払い作業は、昨年までは早い時期から実施されていたが、今年は遅れている。作業管理を問う。

市長 今年の異常な気候により、熱中症にならないように、作業時間の制限などで例年通りに進んでいない状況である。

今後は、気候の状況により作業員を増員するなど対応を協議する。

雑木伐採等も建設業組合などのボランティアで実施する。

記念事業の広報活動

市長／ベルティグッズを活用

堂森 義弘公没後400年記念事業の広報活動の取組を問う。

市長 戦国時代をイメージした設営で、義弘公を前面に集客イベント開く。県内外の観光イベントや三州同盟会議等の場で、



▲市道沿いの雑木や草払いの管理強化へ

ノベルティグッズのPR活用が広報活動拡大への呼び水となり、交流人口の増加に期待する。志を共にする自治体や、地元の「島津義弘公没後四百年記念事業実行委員会」など顕彰団体との連携をさらに強める。

※ノベルティグッズとは企業などが販売を促進する目的で名称を入れて配る品物。

その他の質問

○土捨て場

○給食費無料化への経費見直し

市道整備

東原・上水流線

市長／路側帯へのカラー舗装



松元 卓也



松元 国道10号バイパス
始良小入り口交差点から、
とみよし精肉店の市道は
交通量が多く渋滞も多い。

子供たちの安全な通学
のためにも、今後、道路
の拡幅や歩道増設等を考
えているか。

市長 現場確認などを行
い、安全確保の整備につ
いて、協議・検討を行っ
ている。

全体的な道路拡幅改良
工事については、住宅密
集地ということもあり、
早急な対応が困難である
と考えている。

歩行者の安全を確保す
るため、路側帯へのカラ
ー舗装について、関係機
関と協議を行いたいと考
える。



▲路側帯のカラー舗装など安全確保を

総合運動公園多目的
広場の整備

市長／必要な施設を整備

松元 総合運動公園多目
的広場には、休憩所及び
収納庫やトイレの設置等
は考えているか。

市長 運営に必要な用具
を格納する倉庫や、トイ
レ、休憩施設を設置する
計画である。

産婦健診の助成

市長／調整が整い次第、実施

子育て支援



新福 愛子



新福 産後の母体の回復
や授乳・精神状態を把握
し適切な対応につなげる
産婦健診に助成を実施す
る考えはないか。

市長 産婦健診の助成の
必要性は認識している。
助成にあたり医療機関
による産後うつ病の調査
が必要で、医療機関との
調整が整い次第、実施し
ていく。



▲母と子の笑顔かがやく始良市に

新福 新年度を待たず今
年度中に実施できないか。
市長 前向きに検討する。

小山田地域の活性化

市長／観光振興につなげる施
策を講じたい

新福 12月にさえずりの
森で開催される「星空映
画祭」を小山田地域の活
性化につなげられないか。

市長 市商工会・観光協
会・特産品協会、地元の
竜門校区コミュニティ協
議会、会場の指定管理者
の四季の会など関係団体

で構成する企画立案検討
会も開催している。

今回の映画祭のイベン
トを新たな取り組みへと
つなげる市としての支援
策を模索し、観光振興に
つなげる施策を講じたい。

その他の質問

○高齢者肺炎球菌ワクチ
ン

中山間地域

県道を市の管理に

市長／「権限移譲プログラム」で検討



湯元 秀誠



湯元 中山間地域では猿被害で、農家さえ菜園づくりが出来ないと、失望と諦め感がある。

防護網の助成や集落単位の共同菜園の確保の取り組みは出来ないか。

市長 モデル地区を設けるなど、集落単位で鳥獣被害に強い実証圃場を設置することは実現可能と考える。

地域の主体性と行動力を支援していく。

湯元 長島町では権限移譲で国道、県道の維持管理を行い、町をあげて環境の美化に努めている。

県道の管理を市が担うことはできないか。

市長 市が受託する「権限移譲プログラム」があ



▲県道を権限移譲された沿線は、管理が行き届いて見通しが良い（長島町）

り、以前から検討は行ってきた。

県の「ふるさとの道サポート推進事業」など地域と行政が共に管理する方法を検討する。

国体の施設

市長／開催基本計画に基づき整備

湯元 競技会場の大楠アリーナは、駐車場を広くしてほしいと要望が高い。整備の進め方を問う。

市長 国体会場の駐車場として狭隘であり、適地を確保し、開催基本計画に基づき整備を検討する。

福祉避難所の開設

市長／福祉施設に受け入れる

災害弱者



竹下日出志



竹下 高齢者や障がい者の災害弱者、要支援者の避難対策や福祉避難所への受け入れをどのように考えるか。

市長 民間社会福祉事業所連絡会と、災害時に福祉施設内に福祉避難所を開設し、要配慮者を受け入れる。

日常生活に支障なく避難生活を送ることができ



▲障がい者等が安心して避難生活を送れる福祉事務所

る目的に「災害時に福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結している。

家庭での食べ残し削減

市長／削減ロゴステッカー作成

竹下 家庭での食べ残しを減らす取り組みとして、毎月30日は「冷蔵庫ク

リーンアップデー」、10日は「もったいないクッキングデー」とする「残さず食べよう30・10運動」や、冷蔵庫に貼れる食品ロス削減ロゴステッ

カーを作成する考えはないか。

市長 「残さず食べよう30・10運動」、新たな食品ロス削減、ロゴステッカーの作成は取り組みの手段であると考えている。

今後、市衛生協会とも協議し、調査・研究する。

その他の質問

○公園のトイレ整備

利用拡大はできないか

市長／金額・内容等を再度検討

温泉保養券



有川 洋美



有川 18歳以上70歳未満の障がいのある方々対象の「温泉保養券」もタクシー・バスへの利用拡大はできないのか。

市長 健康・長寿支援チケットの利用状況を踏まえた上で、利用金額・内容等を再度検討することとしている。

有川 健康・長寿チケットの利用方法は拡大され



▲タクシー・バスへの利用拡大を！

たが、利用金額が減額された。

見直しの予定はないのか。

市長 財政状況等を勘案し6千円に設定した。

今後の実績における事業効果の検証を行っている。

命の水の民間委託

市長／安心安全な給水サービスが第一

有川 水道事業の一部民間委託化により、職員の雇用、給与などは担保さ

れるのか。

市長 給与等の水準も現行を下回らないよう協議していく。

有川 民間委託から民営化へむかつていくのか。

市長 市民の方々への安全・安心な給水サービスを第一に考えているので、現在のところ、考えていない。

その他の質問

○始良市の平和活動と核兵器禁止条約

資源物収集

高齢者支援

市長／地域活動を積極的に支援



峯下 洋



峯下 自治会や校区コミュニティで、高齢者の資源物収集を支援している好事例があれば示せ。

市長 平成28年度において、高齢者等のごみ出し支援活動に取り組まれた自治会数は121と聞いている。

超高齢化社会を迎えようとする今日、市としては、これらのことを踏まえながら地域活動を積極的に支援し、共生・協働のまちづくりに努めることに加え、支援を必要とされる方に応じて、個別的な支援策についても研究していきたいと考えている。

荒地の対応策は

市長／調査・研究していく

峯下 厳しい対応策をとるべきと相談を受ける。市の対応策を問う。

市長 国においては、本年6月に「所有者不明土地の利用の円滑化等に関



▲多くの方が利用するステーション

する特別措置法」を公布し、所有者が不明のまま長期にわたり空き地となっている土地について、公園・駐車場など公益目的に限って利用権を設定し、土地を有効利用できるように制度化した。

運用の推移を見極めながら、総合的な空き地対策について調査・研究していく。

その他の質問

○ICT機器の活用

小・中学校

エアコン設置

教育長／財政負担の少ない方法を検討



堀 広子



堀 全ての普通教室にエアコンを設置できないか。
教育長 財政負担の少ない導入方法を検討している。

堀 熱中症対策として、授業中に水分を補給できるように配慮できないか。
教育長 個人の体調に合わせて必要な場合、水分補給ができる。

水道事業(包括的民間委託)
市長／個人情報漏えいは細心の注意を払う

堀 費用対効果、個人情報漏えい、受託者の撤退・倒産など問題はないか。

市長 費用対効果は、十分見込める。

個人情報漏えいは、研修や監査を徹底し、細心の注意を払う。

撤退や倒産については、会社の財務諸表をもとに慎重に見極める。

堀 委託により、これまで業務に従事している33



▲外部委託予定の水道事業窓口業務

人の検針員の身分や委託料などは担保されるか。

市長 本人の意思に基づき優先的に採用するよう給与等の水準も現行を下回らないよう協議していく。

その他の質問
○市営住宅に風呂釜の設置

水防計画

川近くの避難所

市長／洪水ハザードマップで検討



小山田 邦弘



小山田 水防計画の避難場所に蒲生のくすの湯や迫地区いきいき交流センターなど川の近くがある。

これで大丈夫と言えるか。

市長 今後、県の浸水危険地域の調査等を経て、洪水ハザードマップをつくる予定であり、合わせて避難所も検討していく。

小山田 市民の水害への危機感強いが、計画も避難所も資料もほぼ旧町のままになっている。即、見直すべきではないか。

市長 平時の時に、計画や準備の面でも始良市としての見直しをしていく。

小山田 市内の浸水や冠水は用水路に起因するところが多いが、水防計画は用水路を対象としてい

ない。

用水路の問題に着手すべきではないか。

市長 昨年度から雨水対策計画に着手している。用水路とは別系列だが、

排水対策を行わないと内水の被害解消にはつながらないと考えている。

今年度にはその計画が終わるので、そのあとには浸水の被害が大きいところから整備を検討していくことになる。

その他の質問
○子どもの視力低下



▲雨水排水対策を急げ！

休会中、議員は？

始良市議会は市民に開かれた議会を目指し、本会議のインターネット中継など「見える化」に取り組んでいます。

議会だよりも毎定例会後に発行し、「今、市政で何がテーマになっているのか」をお伝えしています。

また、「議会と語る会」も定期的に開催し、直接市民のみなさんと会話するようにしています。

しかし、それでもなかなか見えてこないのが、「休会中の議員の動き」ではないでしょうか。



休会中は市内で催される行事や研修に参加しています。

行事への参加は議員の顔見世と見られがちですが、実は事業チェックの機会になったり、直接市民の声を集める機会になったりもします。

研修は自己研鑽の機会であると同時にネットワークづくりの場でもあります。

私たちは休会中もみなさんの近くへ、未だ知らない学びの場へと走り、そこで得た声や力を議場で活かして参ります。

今回は2つの研修を報告します。

男女 共同参画社会 を識る

我が国では女性も男性と同等の権利をもつ「男女同権」を標榜し、教育もしており「男女共同参画社会」の実現を目指しています。

「男女共同参画社会」とは、性別にかかわらず一人ひとりの人権が尊重され、一人ひとりが、その個性と能力を十分に発揮できる社会のことです。

しかし、残念ながら国際的に見ると日本はまだまだ男女の格差があります。特に、鹿児島は女性議員の数が少ないなど遅れが目立ちます。

男女雇用均等法が施行され30年を経た今でも、あらゆる場面で男女格差は存在します。



今後は男女の違いにかかわらず、一人ひとりの人権を大切にする地域づくりが必要です。それを実現するために「男女共同参画」を行政の中で横串にし、これがあらゆることの前提になるように見直していく必要があります。

- 講師
たもつ ゆかり 氏
オフィスピュア代表
- 日時
平成30年7月20日(金)
- テーマ
「男女共同参画政策の基本」

普通 救命講習を 受ける

通報から救急車が到着するまで約8分かかると言われています。この間大事なものが応急措置で、その基本を学ぶのが普通救命講習です。

市民はだれでも受講でき、修了後には救命講習修了証が交付されます。(問い合わせは消防本部まで)

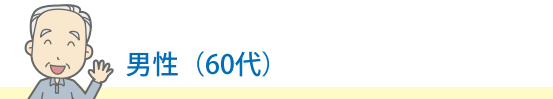
議会ではこの制度を広く市民に伝えるためにも受講を進めており、既にほとんどの議員が受講済みです。

手当を学ぶ実践的な講座です。



- 講師
始良市消防本部
救命士のみなさん
- 日時
平成30年8月21日(火)

傍聴席から



男性（60代）

質問される議員の方の勉強不足を感じた。特に新しい技術についてのことを含む質問について。

〈ICT、Wi-Fi〉場合によってはもう少し深く質問できるのではないのでしょうか。質問、時間の流れをつかんで質問してもらいたい。



女性（50代）

何を質問されているのかわかりにくい部分、各担当者の答弁力不足がみられました。質問はもっと厳しくされてもいいのではないかと思います。



女性（50代）

初めての参加。よかったです。一人ひとりの議員さんの勉強していることに感動いたしました。もっと深く入りこんでの質疑応答できないかとも思いました。



男性（60代）

答弁者は可能な限り具体的に数字を挙げて答弁し、もしそれが不可能な場合、調査のうえ後日丁寧に答弁していただきたい。

●訂正

No31号の4ページ表内 証明施設⇒照明施設
16ページ3段目教育長の答弁は「学歴」⇒「学齢」の誤りでした。お詫びして訂正します。

委員長
副委員長

犬伏 有川 萩原 小田 湯元 松元 岩下 湯之原 竹下 新福 和田 峯下
浩幸 洋美 哲弘 邦秀 卓也 太郎 出志 愛子 里志 洋

広報広聴特別委員会（広報班）

議長 森川 和美

編集・発行責任者

をさ議保おるいやはのとされ全がが員作の
おい。会護りようす皆をせま国'つ全が業編
広聞。だ者ま内容いさ誇すかこて行はは行は冊集
報かそよ方すの心議んにたその視珍いるも編
班せしをはでが会にだもし中研修い少委員の
く、をはお'け'に'つ'で'い'仕'に'こ'う'ず'と'ある'構'成'
ださ'感'渡'し'さん'生'成'も'分'市'民'を'ら'す'。'集'
岩下陽い。など'に'の'て'か'け'り'ま'す'。

編集後記



改選後初！「議会と語る会」の開催

▲平成29年11月 蒲生農作業準備休憩施設で実施した議会と語る会

本年4月の改選後、初めての「議会と語る会」を下記の日程で開催します。

●11月8日(木) 18:30～20:00

中央A地区いきいき交流センター（蒲生町上久徳2516）

●11月10日(土) 10:00～11:30

青葉台公民館（西餅田1970-73）

●11月10日(土) 16:00～17:30

性応寺（加治木町朝日町187）

始良市議会では、開かれた議会として、市政に関する情報を市議会独自の視点から市民の皆様にお知らせし、市民と議会が自由に意見交換する場として「議会と語る会」を開催しています。



多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■お問い合わせ先 議会事務局 TEL 0995-66-3197

傍聴席へどうぞ

車いす席もあります

平成30年第4回定例会は、11月27日
から12月18日まで開催予定